

山の辺の道

長さ26キロメートルのこの道は、三輪（みわ）から奈良（なら）へつうじる昔（むかし）の国道（こくどう）です。昔（むかし）、おおくの人々（ひとびと）がこの道をつかいました。道ぞいには仏教伝来地（ぶつきょうでんらいち）、大神神社（おおみわじんじゃ）、檜原神社（ひぼらじんじゃ）、額田王歌碑（ぬかたおうかひ）、長岳寺（ちょうがくじ）があり、今はハイキングコースとしてたしまわれています。

山の辺の道の様子

